

# エリアブランディングのための エンブレム作成 および 看板設置について



# エリアブランディングの必要性

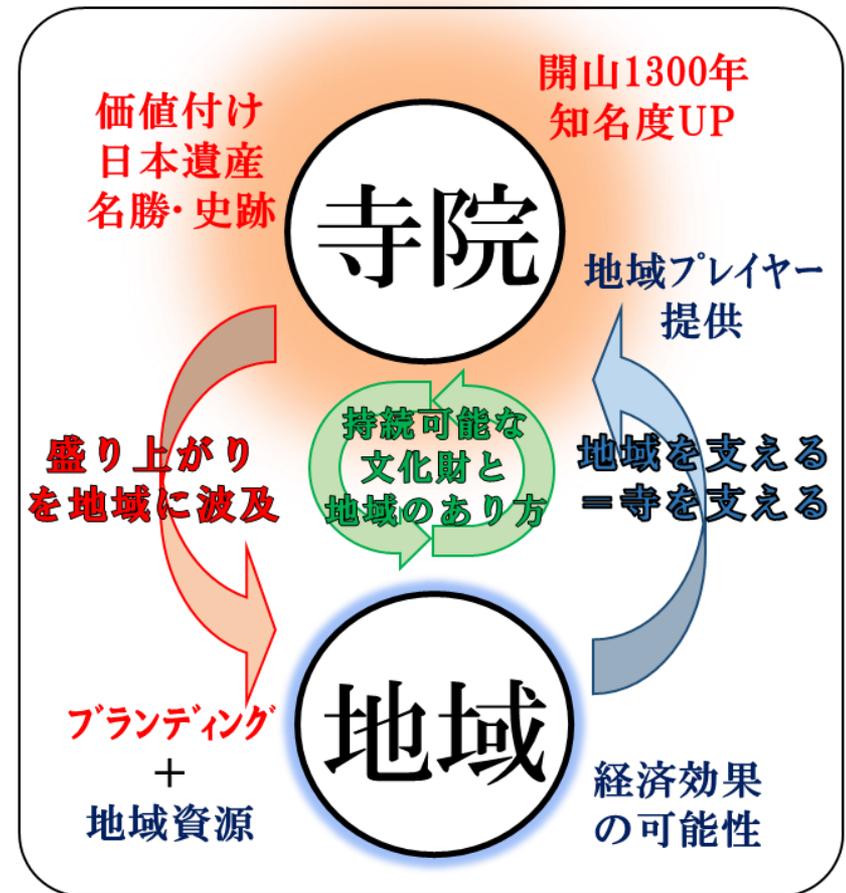
## ・なぜ谷のブランディングが必要なのか？

六郷満山開山1300年、日本遺産認定を経て、「くにさき」の文化・文化財が観光客等に訴求できるコンテンツだということが分かった。

しかし、寺院を支える小規模エリアでの、経済効果はまだ低く（寺院以外素通り）、多くの住民にとっても“ひとごと感”がある。

日本遺産の事業では、寺院・文化財などの地域資源をエリアブランディングに活用したい。

寺院の盛り上がりをエリア全体に波及させ、小規模エリアが持続可能な社会になっていくことを目指す。



# エリアブランディングの方向性

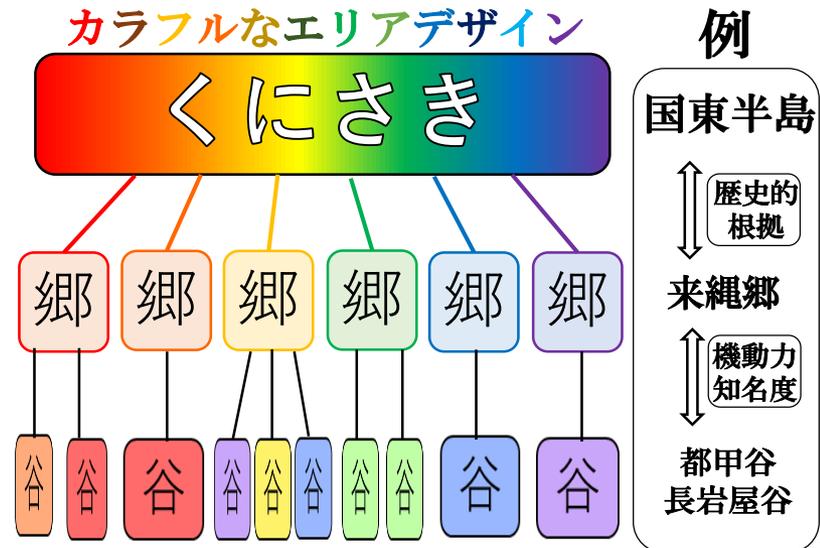
## ・六郷満山の“六郷”を活かす

近年の六郷満山自体の浸透度は高いが、“六郷”という言葉はあまり熟されていない。本来、学術的に分けることは出来ないが、六郷を可視化することで多くの人の理解を深める。

## ・郷と谷の2段階のエリア分け

郷でのエリア分けは、住民のイメージと乖離し、機動力に欠く部分があり、郷によるエリア分けだけでは不十分。

そこで、より小さな区分けとして、国東半島にとって特徴的な「谷」を取り上げ、【郷-谷】の2段階でエリア分けを行いたい。



# 谷のブランディングのためのエンブレムの作成

## ・統一エンブレムの作成

ブランディングの手法として、エンブレムを作成することはよくあるが、特に以下の効果を狙って「谷のエンブレム」を作成する。

日本遺産や文化財・自然などの地域資源を活用したデザインとし、住民・観光客にも理解しやすく、愛着の持てるものとする。

視認性：一目で「くにさき」「谷」のものと分かる

洗練性：デザインの質があがる、目を惹きやすい

同質性：送客効果、リピート効果が高まる

通覧性：個性が際立つ、見落としが減る



▲例：文化的景観のエンブレム

## ・エンブレムの利用方法

### 日本遺産 関連事業に

- ☆関連事業が認識容易に
- ☆回遊性UP
- ☆谷毎の個性が際立つ

### 商品・製品の 産地表示に

- ☆目を惹きやすい
- ☆送客・リピート効果
- ☆デザイン向上(売価UP)

### 看板に (詳細最終頁)

- ☆一目で谷のものと分かる
- ☆目を惹きやすい
- ☆谷毎の個性が際立つ

# 谷のブランディングのためのエンブレムの作成

## ・エンブレムの形状 及び カラー展開に関する展望

視認性及び通覧性の効果を高めるため、エンブレムの形状 及び カラーリングについては、以下のように考える。

☆エンブレムは、簡単な図形で、リンク・敷き詰められるように、**正方形、円形、六角形** (県道や六郷のイメージ) に限定して考える。

☆谷毎に**イメージカラー**を選定し、通覧する際にカラフルな印象を持たせたい。

☆フルカラー版と、イメージカラー単色版を用途により使い分ける。

敷き詰めて使用する際のイメージ (案)

正方形



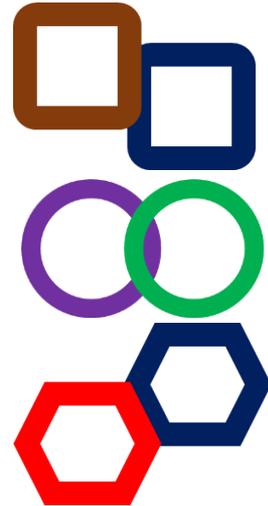
円形



六角形

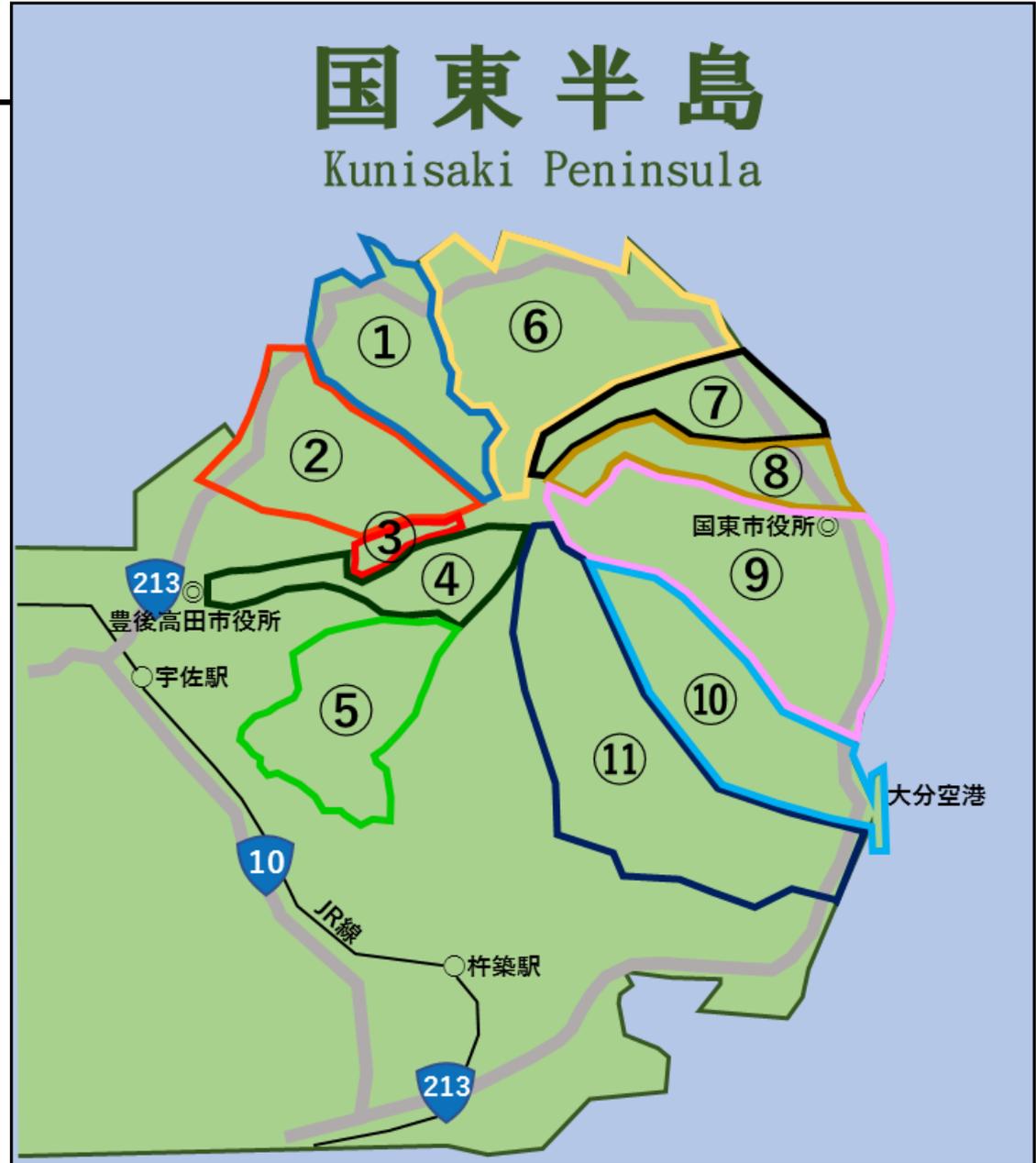


リンクの  
イメージ



# 各エリアの位置

- ① 香々地谷
- ② 真玉谷
- ③ 長岩屋谷
- ④ 都甲谷
- ⑤ 田染荘
- ⑥ 国見谷
- ⑦ 来浦谷
- ⑧ 富来谷
- ⑨ 国東谷
- ⑩ 武蔵谷
- ⑪ 両子谷



## 各エリアのイメージカラー（案）

---

- ①香々地谷：長崎鼻の海のブルー
- ②真玉谷：真玉海岸の夕日と柿のオレンジ
- ③長岩屋谷：災払鬼と鬼灯の赤
- ④都甲谷：霊峰・屋山の濃い緑
- ⑤田染荘：田染荘の水田の緑
- ⑥国見谷：ミツマタの淡い黄色
- ⑦来浦谷：岩戸寺の鬼の黒
- ⑧富来谷：富来神社のゴールド
- ⑨国東谷：桜八幡社の桜色
- ⑩武蔵谷：空港があるので空色
- ⑪両子谷：三浦梅園の見た夜空の紺

# エリアの可視化のための看板作成

## ・国道沿いの谷の入り口にエンブレムの看板設置

名勝指定や日本遺産認定によって、各谷の六郷満山寺院の認知度は徐々に高まっている。しかし、多くの観光客は寺・山をピンポイントで観光の対象としているため、寺以外素通りの状況がある。



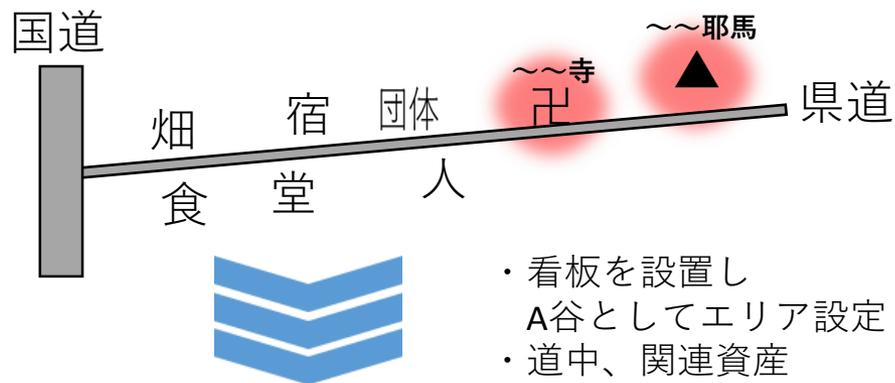
各谷にエリアを設定し、看板でエリアを可視化することで、谷全体を広く観光の対象とする効果が期待できる。

地域住民にとっても毎日通る場所となるため、受入態勢を整える際の旗印にもなる。

※国道側に設置することで、景観も阻害しない

## 観光客の興味の分布

### 【現状】



- ・看板を設置しA谷としてエリア設定
- ・道中、関連資産が観光消費の対象に

### 【整備後】

